

2020年3月期第2四半期 決算ハイライト

三菱地所株式会社

●2020年3月期第2四半期決算 連結業績概要

単位:百万円(百万円未満切り捨て)

	2020/3-2Q 累積実績	2019/3-2Q 累積実績	増減	増減率	2020/3 予想 (2019/5/14公表)
ビル事業	250,427	274,266	△ 23,839	△ 8.7%	590,000
生活産業不動産事業	64,615	51,626	12,988	25.2%	120,000
住宅事業	151,091	182,005	△ 30,913	△ 17.0%	402,000
海外事業	28,450	27,778	671	2.4%	137,000
営業収益	535,226	577,289	△ 42,062	△ 7.3%	1,360,000
ビル事業	71,414	76,778	△ 5,363	△ 7.0%	153,000
生活産業不動産事業	18,163	14,694	3,469	23.6%	35,000
住宅事業	4,741	13,442	△ 8,700	△ 64.7%	20,000
海外事業	9,181	10,760	△ 1,578	△ 14.7%	37,000
営業利益	92,276	106,891	△ 14,614	△ 13.7%	230,000
経常利益	81,083	94,007	△ 12,923	△ 13.7%	207,000
親会社株主に帰属する 四半期純利益	48,078	61,812	△ 13,734	△ 22.2%	137,000
EBITDA	139,820	151,179	△ 11,359	△ 7.5%	324,000

<要旨>

【全体】2020/3-2Qの業績は、前年同期比で減収減益。ビル事業、生活産業不動産事業及び海外事業における賃貸収入・利益の増加があるも、ビル事業、住宅事業及び海外事業における物件売却収入・利益の減少、また国内分譲マンションの売上計上戸数の減少等が主な要因。期初計画に対しては想定通りの進捗。各セグメントにおける前年同期比増減の主な要因は下記の通り。

【ビル事業】新規ビルの賃貸収入・利益が増加したが、物件売却収入・利益の減少により減収減益。
 (空室率) 当社ポートフォリオ全般にわたり空室の跡貸しが順調に進捗し、全国全用途、丸の内内事務所ともに改善した。

(平均賃料) 丸の内の新規ビルにおける賃料発生、及び丸の内を中心とした既存ビルの賃料改定の影響等により上昇した。

		2019/3 実績	2019/6 実績	2019/9 実績	2020/3 予想 (2019/11/7公表)
空室率	全国全用途	1.80%	2.29%	1.98%	1.5%
	丸の内事務所	2.19%	2.69%	2.51%	
平均賃料(全国全用途)		26,702 円/月坪	26,910 円/月坪	27,177 円/月坪	27,300 円/月坪

【生活産業不動産】物件売却収入・利益の増加、アウトレット事業の好調等により増収増益となった。

【住宅事業】国内分譲マンションの売上計上戸数の減少、及び賃貸マンションの売却棟数の減少等により減収減益となった。

【海外事業】大規模リニューアル工事中の米国のオフィスビルで、部分的に工事が完了し稼働率が上昇したこと等により増収となるも、物件売却収入・利益の減少により減益となった。

●2020年3月期 連結業績見通し

2019年5月14日の公表数値から変更なし。

注意事項

本資料および決算短信、FACT BOOKに記載される業績予想に関しましては、発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要素により異なる結果となり得る事を、ご承知おき下さい。

決算短信、FACT BOOKは当社HPよりご参照ください。

◇<https://www.mec.co.jp/j/investor/irlibrary/materials/index.html>

以 上